

関係各位

病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察技術情報（第2号）の送付について

---

#### 早期稲の葉いもちの発生について

5月中・下旬に行った巡回調査において、西部の早期稲で葉いもちの発生がみられています。また、県中央部における防除適期決定ほどは、過去5年と比べて葉いもちの発生が最も早く、警報が出された1998年に次ぐ早さとなっています（表1）。

ブラスタム（アメダスデータを用いた葉いもち感染予測システム）の判定結果では、5月16日～25日にかけて、県内各地で葉いもちの感染好適日が発生しています（表2）。さらに、本年の梅雨入りは5月15日で、平年よりも21日、昨年よりも26日も早く、近年では最も葉いもちの発生が懸念される条件になっています。

向こう1ヶ月の気象予報では、曇りや雨の日が多めとされているため、いもち病の感染好適日が出現する頻度が高いと予想されます。今後、ほ場での発生状況と気象情報に十分注意して下記の対策を心がけて下さい。

#### 記

##### 「防除対策」

- 1 葉いもちが多発すると穂いもちに移行しやすくなるので、早めの対策が重要です。進行型病斑が見られているほ場では、急速に葉いもちが蔓延する可能性がありますので、とくに注意が必要です。
- 2 薬剤防除を行う場合は、周辺作物への薬剤の飛散に十分に気をつけてください。
- 3 QoI剤（ストロビルリン系殺菌剤）耐性いもち病の発生を防ぐため、これらの剤の使用は作期を通じて1回としてください。

表1 早期稲の防除適期決定ほにおける葉いもちの発病株率(%)

調査時期	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	1998年
5月上旬	0	0	0	0	0	0	0
5月中旬	0	0	0	0	0	0	6
5月下旬	6	0	0	0	0	0	16
6月上旬	—	0	0	0	0	0	96
6月中旬	—	0	0	0	0	10	98
6月下旬	—	36	0	0	0	54	100

注) 調査場所：南国市 —：未調査

表2 ブラストムによるいもち病の感染好適条件の判定結果 (R3/5/16~5/27)

日付	本川	本山	大栃	高知	後免	日章	安芸	橋原	須崎	窪川	室戸岬	江川崎	佐賀	宿毛	中村	清水
5/16	1	1	1	—	—	—	●	4	—	—	—	1	—	—	1	—
5/17	—	—	1	●	—	—	●	—	1	—	—	—	1	—	—	—
5/18	4	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	●	●	—
5/19	1	●	4	●	●	●	●	4	4	●	—	●	●	4	●	●
5/20	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5/22	3	—	●	●	●	●	●	3	●	●	—	●	●	●	●	—
5/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5/24	3	3	3	3	3	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5/25	3	1	1	●	1	1	●	3	4	3	—	1	1	●	1	—
5/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—

<ブラストムの判定表示説明>

感染好適条件(●)：

葉面湿潤条件がいもち病菌の感染に十分な10時間以上を満たしており、湿潤時間中の平均気温が15～25℃、かつ前5日間の平均気温が20～25℃で、これらの条件がすべて満たされるとき、葉いもちの大量感染に好適な気象条件が出現したものと判断して「感染好適日」とし、●印で表示しています。

準感染好適条件(1～4)：

葉面湿潤時間は充分であるが、その他の条件が一部不足している場合を「準感染好適日」としています。その際、判定の条件の違いを数字で示しています。1は前5日間の平均気温が20℃未満であるが、湿潤時間は条件を満たす場合、2は前5日間の平均気温は25℃を超えているが、湿潤時間は条件を満たす場合、3は湿潤時間中の平均気温は15～25℃でないが、湿潤時間は条件を満たす場合、4は湿潤時間中の平均気温は15～25℃であるが湿潤継続時間が不足している場合に当たります。これらの準感染好適日が続いても発病が始まるので注意が必要です。

詳細および上記の期間以外の判定結果につきましては、病虫害防除所のホームページに掲載していますのでご参照下さい。(https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dtl.php?ID=9210)。